

平成 20 年 12 月 18 日

フジテレビと電通、共同製作映画「ホノカアボーイ」と連動した  
食コミュニケーションプロジェクト「ごちそうさま委員会」を発足  
～映画を活用した協賛各社の CF を制作し、食へのメッセージを発信～

株式会社フジテレビジョン  
株式会社電通

株式会社フジテレビジョン（本社：東京都港区、代表取締役社長 豊田 皓、以下フジテレビ）と株式会社電通（東京都港区、代表取締役社長 高嶋達佳、以下、電通）は、食に対する意識を啓発する試みとして、食コミュニケーションプロジェクト「ごちそうさま委員会」(※) を発足し、食に関心の高い協賛各社を募り、3 月 14 日公開予定の共同製作映画「ホノカアボーイ」を活用した各社オリジナル CF の制作を行うなど、映画と企業メッセージが連動したキャンペーンを 12 月より展開します。

フジテレビと電通は食の安全や食育など食に関する生活者の関心が高まる中、かねてより食に関するコンテンツを核に、食に関わるメッセージを伝えるコミュニケーション企画を模索していました。そのようななか、ハワイ島の小さな町ホノカアに暮らす日系人女性ビーさんの手料理の魅力を書き上げたエッセイ「ホノカアボーイ」(吉田玲雄著)に出会い、作品中に幾度となく登場するビーさんの手料理の描写を通した作る喜び、食す喜び双方の目線で物語が展開するその内容が、食への感謝をメッセージするための企画に相応しいと判断、この度、二社は同エッセイを原作とした映画「ホノカアボーイ」を共同製作いたしました。

そして、映画のキーコンセプトでもある、食事を作ってくれた人への感謝の気持ちを表す言葉「ごちそうさま」に象徴される『食』への感謝の精神にご賛同いただいた協賛各社と共に、食コミュニケーションプロジェクト「ごちそうさま委員会」を立ち上げました。同プロジェクトは、食に対する感謝の姿勢、そして食育等への取り組みを広くメッセージする手段として、同映画と世界観を統一した協賛各社のオリジナル CF を制作するなど、幅広い広告コミュニケーション企画を映画「ホノカアボーイ」の公開、プロモーションと並行して展開していきます。

また、「ごちそうさま委員会」の趣旨や各社のオリジナル CM を期間限定で試聴可能とするウェブサイト (<http://www.gochiso-sama.jp>) を 12 月 18 日より立ち上げ、映画ホームページ及び協賛各社のホームページとリンクを貼りメッセージを発信していきます。

**Gochiso-sama.jp**

今回のプロジェクトは映画製作を主にフジテレビが、広告制作を主に電通が担当しながらもそれぞれのノウハウ、アイデアを有機的に交えた類稀な取組みとなった。

## ※ごちそうさま委員会



コンテンツ制作のフジテレビと広告会社である電通が、双方のリソースを発展的に活用し、食に対する姿勢を見つめ直すというコンセプトのもと、趣旨に賛同頂ける協賛各社を募り、オリジナルの広告を軸に多くの生活者に「ごちそうさま」の精神を届ける事を狙うプロジェクトで、映画「ホノカアボーイ」を核にその世界観を展開していく。

### (協賛企業各社)

花王株式会社・キリンビバレッジ株式会社・東京ガス株式会社・東洋水産株式会社  
株式会社ほっかほっか亭総本部・明治製菓株式会社 (五十音順)

※2008年12月9日現在の決定社。更なる賛同と協賛を募っている。

### (広告制作スタッフ)

広告会社 : 株式会社 電通  
製作会社 : ロボット  
クリエイティブ・ディレクター : 亀山千広/杉山恒太郎  
プランナー : 高崎卓馬  
コピーライター : 高崎卓馬/太田祐美子  
アートディレクター : 勝又祐子  
プロデューサー : 須藤江里

### (出演者)

岡田将生、倍賞千恵子

### 【映画「ホノカアボーイ」概要】

公開 : 2009年3月14日  
配給 : 東宝株式会社  
製作 : フジテレビジョン/電通/ロボット  
出演 : 岡田将生 倍賞千恵子 長谷川潤 喜味こいし 正司照枝  
蒼井優 深津絵里 松坂慶子  
監督 : 真田敦  
脚本 : 高崎卓馬 (電通 CMプランナー)  
原作 : 吉田玲雄「ホノカアボーイ」(幻冬舎刊)

### 【本件に関するお問い合わせ】

フジテレビ 広報局広報部 電話 03-5500-8281  
電通 コーポレート・コミュニケーション局広報室 電話 03-6216-8041